

大学改革この1年

—広島大学の改革の歩み—



-地域社会・国際社会との共存-

〈学生・子供達・地域住民との交流を深めるフレンドシップ事業〉

広 島 大 学

◎ 21世紀の将来構想

☆ 広島大学のさらなる改革

- 21世紀の広島大学像マスター・プランの策定
- マスター・プランに基づくアクション・プランの策定

赤字は、最近1年における取組・実施予定を示す
黒字は、以前から継続しての実施を示す
緑字は、今後の取組を示す

◎ 独立行政法人化に向けての取組

☆ 「独立行政法人化対策会議」の設置

☆ 「独立行政法人化事務調査検討委員会」の設置

◎ 教育改革への取組

☆ 教養的教育の充実

- 教養的教育のさらなる充実のための自己点検・評価の実施
- 教養的教育の改善充実

☆ 学部教育改革

- 学生の流動化（転学部の制度化）
- アドミッション・ポリシーの明確化
- AO入試の導入
- 成績評価基準の明示と厳格な成績評価
- 各学部の理念のもとでの到達目標（卒業時の学生像）
- 学生のための個別相談（ピア・サポート・システムの導入）
- 外国語技能認定試験等による単位認定の実施
- フェニックス入試制度の導入

☆ 大学院改革

- 大学院講座化の実施（理学研究科、文学研究科、教育学研究科、先端物質科学研究科、工学研究科、医歯薬学総合研究科、生物圏科学研究科）
- 教育系学部・大学院の統合再編
- 社会人再教育のための社会科学研究科マネジメント専攻（独立専攻）の設置
- マスター・プランに基づき 総合研究大学を目指した大学院講座化の推進
高度専門職業人養成を目指す新しいタイプの大学院制度の導入
社会人の積極的な受入れの推進

☆ 教官の意識改革

- 教養的教育改革の全学研修会
- 教員研修会を体系的に実施

☆ 就職活動支援体制の強化

- 企業向け「広島大学紹介」の作成
- 学生就職センター（学内措置）の設置
- インターンシップの全学導入
- 「厚生課」を「就職課」に改組
- 卒業生を中心とする関西地区就職応援団の設立

◎ 自己点検・評価

☆ 『広島大学白書』刊行

- ①—理念・目標— ②—教育と研究— ③—組織運営と施設設備・環境—
- ④—教員組織— ⑤—これまでの自己点検・評価活動の点検評価—

☆ 外部評価の実施（8学部、8研究科、1研究所、1附属病院、1学内共同教育研究施設）

☆ 学生による授業評価の実施（7学部、6研究科）

☆ 新たな評価システムの構築（学内評価委員会の設置）

◎ 組織運営の活性化

☆ 「大学計画委員会」の設置

☆ 「大学運営戦略会議」の設置

☆ 管理・運営体制の見直し

- 評議会の活性化のための部会設置
- 評議会構成員の見直し実施
- 学長補佐体制の整備
- 審議決定権を有する部局長会議の設置
- 運営諮問会議の設置
- 教育研究基盤校費の重点的予算配分の実施

☆ 大学教員の選択的任期制の導入・推進

☆ 事務機構改革「全学的事務機構の見直し」の実施

- 事務一元化、集中化及び事務減量化の推進
- 事務職員の削減に対応するための全学総定員管理と定員再配分
- 全学的な事務組織の抜本的な統合再編
- 事務職員の意識改革の推進（S D等）
- 補佐提案プロジェクトの実施

☆ 事務管理運営改善検討委員会の設置

◎ 開かれた大学づくり

☆ 大学の知的資源を活かした学外への情報提供

- 大学情報サービス室の設置
- 大学情報室の設置

☆ 情報化社会に対応する情報メディア教育研究センターの設置

☆ 地域との連携による公開講座（出前講座）の拡充

☆ 地域企業との共同研究の推進

（地域共同研究センター、放射光科学研究センター、ナノデバイス・システム研究センター、各学部）

☆ 研究成果の移転の推進（広島大学方式技術移転の構築）

☆ 高度先進医療機関として地域貢献を果たす医学部附属病院の病棟改築（平成11年着工）

☆ 広島県教育委員会との共同研究の実施（教育学部）

☆ 国際化の推進

- 教育開発国際協力研究センターの設置
- ユネスコ・アジア太平洋地域教育開発計画（A P E I D）への参画
- 外国人留学生受入れ761名（短期交換留学プログラムの推進等）
- 事務職員の海外派遣

☆ 情報化の推進

- 知識・情報共有化システムの構築
- 学生データオンライン化システムの構築
- 高速キャンパス情報ネットワークの整備
- 全学認証システムの構築
- キャンパスセキュリティーの強化
- パーチャル・ユニバーシティ・システムの開発

☆ 本学の「セールスポイント」の策定

☆ 広大アンテナショップの設置

広島大学の理念

1. 平和を希求する精神
2. 新たなる知の創造
3. 豊かな人間性を培う教育
4. 地域社会・国際社会との共存
5. 絶えざる自己変革

平成7年10月17日制定

本学の将来計画の策定に当たっての基本的な考え方

1. 学部教育と大学院教育との相対的な役割の分化を図りながら、新しい時代に対応した大学院の整備・充実と教養的教育のさらなる充実を含む学部教育の抜本的改革をめざす。
2. 真の総合大学をめざして、学部・研究科間相互の交流推進による教育研究の活性化及び専門深化を図るとともに新しい学問領域を開拓・発展させる。
3. 開かれた大学を実現するため、大学情報の公開を推進し、地域社会・国際社会とのネットワークを構築して、知的情報の創造と発信機能を充実させる。

平成10年10月20日学長提案
部局長連絡会議承認

平成13年10月総務部作成